

Shining Achievers

『はこでつくったよ！ I made it with boxes！』

今日はArtの授業の様子をお伝えします。

箱を積んだり、並べたり、つないだりして、楽しみながら思い付いたものを表現していきます。「並べる、つなぐ、積む」等の行為は、子どもたちの平面から立体への意識の芽生えに必要な活動だと思っています。

「はこをつくってみよう！」

大ききの違う3つの箱をつくります。「こういう家でやったことある！」という子もいれば「なにがどうなっているの!？」と初めての体験にワクワクしている様子の子もいます。

「箱を並べたり、つないだり、積んだりすると、どんなものができるかな？」

3つの箱が完成した後は、箱を貼り付ける方法を確認したり、箱を積んだり並べたりすることを試しながら、思い付いたものを表す学習活動に取り組んでいきます。「うさぎにしようかな。」「恐竜にしたいな。」「船もいいな。」箱を組み合わせながら次々とアイデアが広がっていきます。

この時期の子どもたちは、友人と一緒に活動しながらイメージが次々と変化していきます。表したいことをすぐに見つかるともあれば、材料や用具、作品等に触れて次第にイメージをはっきりとさせていくこともあります。『イメージ』は生まれてからこれまでの経験と深く関わっており、そのときの感情や気持ちとともに心の中に残っています。子どもたちの作品を見ると、これまでのご家庭での経験や思い出も一緒に感じられる気がして、温かい気持ちになります。今回も友だちと一緒に動物や乗り物をつくる姿や、友だちのロボットや恐竜を見て「ぼくも!」とつくる姿が見られました。「それかっこいいね、どうやってつくったの?」と聞かれた子も、嬉しそうな表情です。このような瞬間にみんなで活動する良さを感じます。

近々、箱からできたお友達を連れて帰る予定です。ぜひ、ご家庭でもその話題を取り上げてみてください。